

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年に対し、売上130%、来客数が122%と引き続き好調である。見慣れない客が増えたと実感している。
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数は前年比115%と増えているが、客単価が低くなっている。セール品がよく売れているので、やや上向き傾向にある。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・地域のスーパーには客の姿を見るが、小売店や飲食店等の小さな店には人の姿が見られない。
			一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子
		スーパー（統括）	お客様の様子	・1人当たりの買上点数が減っている。節約志向が強くなり、関連した商品の購入が減っているのが一因である。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・今月の前半は気温が高めに推移したため、防寒衣料が苦戦している。郊外のファミリーレストランが撤退するなど、外食の機会が減り内食化が更に進んだためか、加工食品、生鮮共にバランス良く伸びている。中でも、そう菜、すしの伸びが顕著である。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・値引きの商品は売れるが、他の品物には客は一切目もくれないという状況が続いているので、景気自体はあまり変わってきていない。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・特にジャケット等の重衣料が苦戦している。
		住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・価格に対する反応が一段と厳しくなる傾向が続いており、それに連動してチラシ価格の低下が続いている。利益率の低下が顕著である。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者数は前年と同じくらいである。
		ゴルフ場（業務担当）	来客数の動き	・今月も天候の良い日が続く順調な来場者が見込め、前年比で増加しているが、客は価格に敏感で、売上はなかなか期待通りには伸びていない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・先月に引き続き忙しい日が続いているが、受注になるまでに時間がかかり、なかなか手応えを感じられない。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・原油価格が下落傾向にあることもあってこれまで控えていたが、今は建築のチャンスと見てか、相談を受ける件数が増えつつある。	
	やや悪く なっている	一般小売店〔金物〕（経営者）	お客様の様子	・近くの下請工場では親会社からの発注が10分の1以下になったという話を聞いており、非常に不安が募っている。
一般小売店〔家電〕（経営者）		お客様の様子	・古くからの商店街はシャッターを下ろす店舗も多く、空き店舗に新たに営業する店も無く、客寄せが難しい。年配の客には大型店より喜ばれていた地域店だが、社会情勢の不安定もあり、明るい兆しが見えてこない。	
一般小売店〔青果〕（店長）		お客様の様子	・100円、200円等の安い物しか動かない。	
百貨店（営業担当）		お客様の様子	・商品選びが非常に慎重になっている。余計な物は買わなくなっている。	
百貨店（営業担当）		販売量の動き	・特にメンズにおいて、例年好調で全体を引き上げていたプレステージのアイテムの動きが非常に悪くなっている。	
スーパー（経営者）		販売量の動き	・1人当たりの販売点数が落ちてきている。	
スーパー（販売促進担当）		販売量の動き	・価格を打ち出したセールで一時的に売上が上がるものがあってもマイナスの部分が大きく、月トータルだと前年を割り込む状況が続いている。堅調であった食品が前年を割ることが多くなってきたことから、景気の悪さが進行している。	
衣料品専門店（統括）		来客数の動き	・町を歩いている人が本当に少なく、まばらな状態である。しかし、電話で注文があるので、なんとかしのいでいる。	

	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・本来なら販売台数が伸びてくる時期にもかかわらず、不景気な話題が多く、各家庭もそれを実感する中、台替えの話は極端に少ない。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・石油関係の価格下落はあるが、消費量が減っているために、販売量も大きく下降している。
	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・来客数の動きが極端に悪い。ミニ展示会をしているが客が来ないので、当然販売量も月を追うごとに台数が減っている。客が来ないことには販売台数の増加にはつながらない。
	自動車備品販売店 (経営者)	お客様の様子	・客から料金に対して、安くして欲しい等の要望が今までになく多い。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・昼間の来客数はそれほど変わらないが、夜の来客数が非常に減少している。それと共に客単価も低くなっている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・人通りがかなり減っていて、夜は閑散としている。
	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・紅葉シーズンの秋季入込は悪くなかったが、現段階での年末年始にかけての忘年会、新年会の予約状況や問い合わせ状況を見る限り、決して状況が良くなっているとは考えにくい。
	観光型ホテル (営業担当)	単価の動き	・安価な客室から売れていく動きが、ここにきて顕著に見られる。
	都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・12月の予約状況は、特に忘年会の予約が前年より大分少なく、大型宴会や会食が減っている。
	旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・来客数は激減している。
	旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・今月は紅葉の時期ということもあり、国内の近場の旅行は比較的順調だったが、海外はサーチャージ等の問題で厳しい状況である。特に若い女性の海外離れが進んでおり、若者の海外販売が落ち込んでいる。
	旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・海外旅行の受注が上向いていたが、ここにきて海外旅行も国内旅行も受注が非常に低迷してきている。来客数も減少している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・週末の夜間の流し営業運行も、じり貧傾向が続いている。企業のタクシーチケットの利用制限など、景気後退の声が出ている。
	通信会社(経営者)	販売量の動き	・家庭用灯油などもタンクを満タンにしない客が増えてきている。
	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・個々の客に覇気が感じられない。
	通信会社(営業担当)	それ以外	・株価の下落や景気低迷等の要因により、消費者の購買意欲も下がっており、先行きの不安が影響している。
	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・前月、前々月と比べると今月の動きはかなり悪くなっており、約10%ほど落ち込んでいる。前年比にしても3%ほど減少している。
	競輪場(職員)	お客様の様子	・来場者数、購買単価共に下降気味にある。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・居住用住宅やアパート建設については、今のところ前年並みの受注を確保できているが、店舗建設はテナントの出店凍結が相次ぎ、大変苦しい状況となっている。
悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・客は来ても余分なものは買わず、10、11月は完全にダウンしている。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・不況の声に気持ちが縮してしまうのか、明るい顔をして買物に来る客が少ない上に、通りを歩く絶対数が少ない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・来店客が「迷ったら買うな」と言っている。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・前年同時期の日曜日と比べると、今年はかなり来客数が減少している。また最近、土曜日の夕方でも人影がまばらになってきている。
	一般小売店[乳業](経営者)	お客様の様子	・既存の客については購買量が、新規顧客についても、申込の数量が減少傾向にある。
	一般小売店[衣料](経営者)	来客数の動き	・10、11月と晴天が続く観光客が多く、観光客向けの店は、1.3倍、1.5倍と売上が上がっているが、一般の店は良い状況ではない。

百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・引き続き、婦人服を中心とした衣料品全般が不調である。また、お歳暮ギフトがスタートしたが、苦戦を強いられている。大型催事や価格訴求品に対する反応は良いが、正価品に対しては非常に慎重になっている。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数も減少気味で、売上も低迷している。来客数の減少幅よりも売上の減少幅が大きい状況なので、客単価も下がっている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・婦人服は来客数、単価共に前年並みであったが、店頭全体特に化粧品はすべて前年割れである。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街への客が激減している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・買い回り商品を扱っている衣料品等は全く客が見られないので、今後商売がやっていけない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数については、依然として前年を割り続けており、80%後半くらいである。
家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・大手企業の下期予算額修正があり、購入予定商品の点数、アイテムの減少が目立つ。
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・買上点数の減少がある。必要な商品しか買わない傾向がある。
住関連専門店（経営企画責任者）	販売量の動き	・生活必需品以外は買い控えが顕著になっており、必需品の購入数も減少している。
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・月の後半から来客数、販売量共に目に見えて急激に落ち込んでいる。売上は前年比で30%近く落ち込み、深刻である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・昼の来客数も減っており、夜の宴会の客数も最近少なくなり、回数も減っている。
スナック（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもがとても固い。
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・年末年始の宴会予約が、前年に比して確実に約10～15%減となっている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比で20%ダウンしている。原油は下がっているが、高値安定でボイラー代は下がっている実感が無い。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・会合、分科会、懇親会、宿泊を毎年受けている客から、年度末になり急なキャンセル等が1週間に何件もあり、キャンセルが増えている。これから先が非常に心配される。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・マスコミが不況をああしているような報道の姿勢が疑問である。まだ体力のある法人客までが不安感を持って旅行を控えている。
タクシー運転手	お客様の様子	・11月に入って、ますます悪くなっている。1日の営業回数がおおよそ10回くらいになっており、2～3割くらい減っている。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・1台当たりの出庫回数が前年比10%くらい落ちている。また、1回当たりの単価も落ちているので、前年比14%の減少である。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・来客数は減ってはいるが、激減ということはない。客は手に取って商品を見るが購入しないため売上は激減している。
観光名所（職員）	販売量の動き	・自然に恵まれ観光関連産業が盛んな地域であるが、今は危機的な状況にある。当社のような観光地内の別荘販売業者も、大幅に売上が減少しており、赤字経営が続いている。
その他レジャー施設【アミューズメント】（職員）	それ以外	・今までは良いにしても悪いにしても、天候、気温、競合店といった条件によっての上下はあったが、今は売上自体が落ちている。当然ながら要因が特定していないので、なかなか回復の対応ができていない。当店は支店の1つであるが、日々の現金繰りの状況、本社からノルマを厳しく言われる傾向にある。
美容室（経営者）	来客数の動き	・個人店は平日ほとんど来客数が少なく、忙しい店はチェーン展開している店である。店により格差が非常に大きい。全体的に来店頻度が長くなっている。
美容室（経営者）	販売量の動き	・売上額が前年度比で12%減少している。消費する意欲が減っている。

		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・本年度に入って初めて14.7%の減少となり、入庫台数に陰りが見え始めている。年末にかけて、更に入庫台数の悪化が予想される。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・得意先の廃業、倒産が増えており、また、売掛金も増えてきて回収がなかなか難しくなっている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・客の設備投資の見通しがない。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・新規の依頼、相談等が全く無い。たまたま今手掛けている物件のボリュームが大きいので、何とかそれで気を紛らわせているが、その物件が無ければと思うとぞっとする。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・金融不安の影響から顧客の全体数が減り、需要とは無関係に不景気感がある。何か画期的な政策が打ち出されないと顧客の動きが見られない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近も不動産に対する問い合わせや引き合い等がますます無くなってきている。給料が減っているサラリーマンが多いようで、不動産を現在購入しようとか借りようという気配が無い。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・一概には言えないが、穀物の価格高騰で当社は商品を値上げして売上が落ちていたが、いよいよ他県の同業者も値上げせざるを得ない状況になり、価格を当社と同じだけ上げたところ、当社製品が売れるようになっている。価格差は2円だけなのに、消費者は1円でも安いものに行く。企業も消費者も生計が厳しい。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・多少販売量が減ってきており、平年から比べるとかなりの減少である。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・当社は取引先が特装車両、工作機械、産業機械の業界であるが、いずれも下期の計画見通しが悪化してきている。ただし、工作機械では航空機関連の見通しは非常に明るい。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・前月同様、利益がある状況で11月も終わりそうである。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・安売り雑貨のホームセンター向けの商品、冬物家電等の動きは良い。しかし、その他取引先等の荷物は前年比を下回っている。全体的には前年並みの確保である。
	やや悪くなっている	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・円高による輸入ワインの還元セールに加えてボジョレーヌーヴォーの攻勢により、国産ワインは苦境に陥っている。一部老舗メーカーの経営不振の噂も耳に入っており、業界を取り巻く環境はますます厳しくなっている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月になって受注量が極端に減少してきている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節商材の受注はあるものの、受注量は年々減少気味である。また、クリスマスフェアとして自社店頭商品の販売を行っているが、客足は非常に鈍い。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・親企業からの注文が減少している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・当社もそうだが、取引先のほとんどの企業から仕事量の減少を聞いている。また、最近設備投資を行った企業でもリストラが始まるようである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・米国向けの高級自動車の部品を作っているが、ほぼ壊滅状態で前年同時期からみると、10分の1くらいに落ちてしまい、非常に厳しい。また自動車以外で内需関連の仕事もやっているが、そちらは今のところそれほど影響が出てきていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・好調だったデジカメや高級カメラも減産に入り、一部を除き大幅な落ち込みが出ている。

	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	それ以外	・今月のチラシ出稿量は90%と17か月連続して前年を下回っている。過去にこれほど長期にわたり前年を割ったことはなく、先行きは全く見えない状況である。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・不動産登記の申請件数が減っている。
悪くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今まではやや売れていた部門もあったが、ここに来て全部門で大幅に落ち込んでいる。仕事が無くなってきたので、工場内の整備や設備のチェック等、売上に繋がらない作業が増えてきている。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の量産品に関して仕事が止まっている。開発案件も軒並み凍結、延期になり、仕事が急激になくなっている。油圧機器、建設機械に関しても減産傾向を強めている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先のビジネス向け電話の売行きが相変わらず低迷していて、当社受注も減少している状況が続いている。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・メーカーの減産が非常に強くなっている。3月末までに約20%の減産体制であり、4月以降は全く見通しが立たないなかで、人件費など圧縮をし、12月の賞与もストップせざるを得ない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・卸売りは前年の3割ダウン、前月比では50%近いダウンであり、先行きが読めない。クリスマスシーズンに突入だがオーダーは入らず、現時点では1人当たりの販売単価が下がるというより販売数が激減している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・県内の自動車の販売台数、公共事業の予算、発注が少なくなっている。
	建設業（総務担当）	それ以外	・受注安値が続いているなか、以前からの原材料高騰の影響で赤字になる物件が出てきている。特に舗装工事は材料が石油製品なので大変大きな影響を受け、施工努力ではいかんともしがたい状況が続いている。
	金融業（店長）	取引先の様子	・売上の減少及びキャッシュフローの悪化により、資金繰りが大変である。今はじっと我慢する時期との回答もある。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・3月末決算の取引先で、既に決算対策で販促予算を圧縮してきている。県内でも大手企業なので、多くの取引先の売上が前年比で30%は落ちている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・中小企業は急激な販売、営業環境の悪化を前に、業績を立て直すすべを無くしている。キャッシュフローを生む力は限界に達し、借入金返済や諸支払が滞るケースが急増している。
	社会保険労務士	取引先の様子	・日用品等でも来客数は減少していないが、客単価が低下する等、影響が出ている。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	-	-
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・就職関係についてはまだ落ち込むということはないが、予算を取りにくくなってきている。役所、民間共に徐々に予算削減の方向性で考えているようであり、現状の取引先回りの中でも、来年はちょっとという話をいくつか聞いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・特に、派遣求人が大幅に減っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年比で21.4%と大幅な減少になっている。これで8か月連続で前年比を下回っている。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求職者数の動き	・人材不足が言われている福祉関係以外の求人数が減少している。製造業の求人も減少している。人材派遣会社の年明けからの派遣先の減少が伝わってきている。

悪く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求職者数の動き	・仕事の量が少なく、頼まれても期間が短い。
	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・景気が悪化している。製造業では、派遣契約の途中キャンセルも出始めている。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・開業以来の26年間で最も悪い状態に入っている。派遣の方もすべて広告依頼が止まっており、非常に悪い。
	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・ここにきて人員整理が目立ってきているが、なかでも半導体製造へ派遣されている労働者が500人以上契約解除されることになり、今後求職者が増加することが確実である。
	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・新聞報道等であるように、自動車工場の派遣社員の契約解除が大きく報じられ、関連会社への影響も出ている。また、製造業を中心に、今後雇用調整を検討する情報もある。
	民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・大手製造業のリストラが目立ち始め、製造業を中心に派遣社員の解約が相次ぎ、相当な人数が職を失っている。